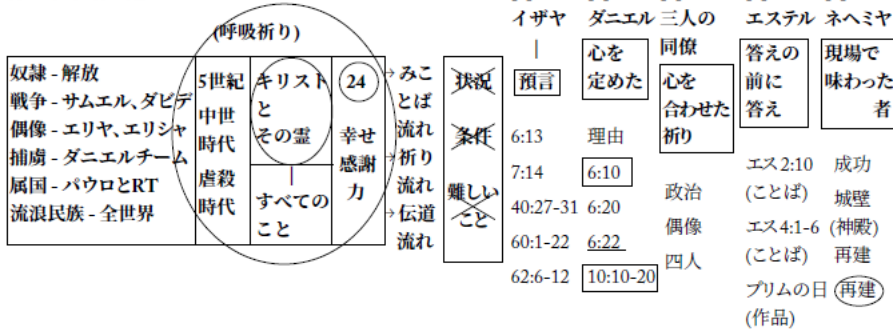


21.9.18 核心RTday

序-「巡礼者の道」



要約

来年のことをあらかじめ話す。

□序論 Remnant と伝道者は「巡礼者の道」を歩む人々だ。

1. 奴隷になって解放されるから Remnant が巡礼者の道を歩んだ

- 戦争が続けて起きた時期に生まれたサムエル、ダビデ
- 偶像時代のときに起きたエリヤ、エリシャが勝利した奥義
- 捕虜時代のときに主役だったダニエルチームが時代を率いた方法
- 属国時代にパウロと RT が起きて巡礼者の道を歩んだ

福音を持つイスラエル民族が流浪民族になったので、全世界に散って巡礼者の道を歩むようになった
 →神様が結局、世界福音化を成し遂げられるのに 237、いやし、サミットを開かれたのだ。

2. 5 世紀、中世時代、虐殺時代のとき、本格的に巡礼者が動き始めた—呼吸祈り

3. ただ一つだけ祈り

- [吸う息]キリストとその霊によって私を満たしてください
- [吐く息]目に見えるすべてにその力が行くように現場を置いて祝福して感謝

4. これを 24 した。巡礼者の道を歩みながら祈りでとても幸せだったし、難しい状況を越えるほど感謝した。とても大きな力が生まれる。ただ主、ただキリスト、ただ聖霊だけ祈った。

5. すばらしい霊の世界へ出てくる→みことばの流れ、祈りの流れ、伝道の流れが見える。

6. 状況、条件、困難がまったく感じられないほどだ。これが祈りと礼拝を分けること。なぜか。みことばの流れが見えて幸せで力があるから。

①イザヤ-捕虜生活をあらかじめ見て預言

1. イザ 6:13 「さらに滅びる。しかし、切り株は滅びない」
2. イザ 7:14 「処女がみごもって男の子を産む。その名をインマヌエルと名づける」
3. イザ 40:27-31 みことばの力
4. イザ 60:1-22 本格的に Remnant が起きる。
5. イザ 62:6-12 「あなたは見張り人だ」

②ダニエル-心を定める

△イザヤの話をわかった人々がバビロンをひっくり返した。

1. ダニ 1:8 心を定めた。理由を分かったのだ。
2. ダニエルを見つめれば「24」が出てくる。生活の中でずっと祈った証拠が出てくる。
ダニ 6:10 ダニエルが死に直面するようになった背景。「いつものように」
ダニ 6:20 「あなたがいつも仕えている神は」
ダニ 6:22 「私の神は御使いを送り、獅子の口をふさいでくださったので」
3. ダニ 10:10-20 重要なことを置いて 20 日間集中祈り→すべての世界をダニエルにみな知らせてくださる。

③三人の同僚-24 祈りが通じる 2~3 人の心を合わせた祈り

1. 政治をする人の考えは変わらない。
2. この人が偶像を作ったがこれを崩した。
3. 火の燃える炉に三人を入れたが四人が行き来した。

④エステル-答えの前に答えを受けた。

1. エス 2:10 王妃になるとき「ユダヤ人であることを言うてはならない」
2. エス 4:1-16 ユダ人がみな殺されることになった。「今、行って話さない。このときのために神様があなたをそこにたてたのだ」重要なそのときのために Remnant をたてられたのだ。
3. プリムの日-その言葉が作品に残るようになる。

⑤ネヘミヤ-現場で味わった者

1. 本当の成功-ネヘミヤを見て「神様を信じる人だ」と見た人が多い。
2. 城壁(神殿)再建-そのときネヘミヤが言ったこと。
3. 再建-妨害をたくさんされたが、イスラエルは結局、勝利するようになる。ネヘミヤが役割を果たした。
△みなさんがいる現場で、この奥義を持っていれば、その人々が知るようになる。
△共通点-ダニエル、三人の青年、エステルを見た王たちが、彼らにこれ(序論)があることを知ったのだ。
みなさんが本当に力を回復して、それで勉強も未来も、みな進んでいくのだ。

<全文打ち出し翻訳>

映像で私たちのオーストラリアチームを見て、とてもうれしいです。事実、私たちの今、映像という準備を事務局でもとても苦心してします。ほとんど出退勤も、ほとんどない状況です。そして、そのようなのですが、毎週したら良いですね。それでこそ、すべての Remnant をみな見るでしょう。一年が 52 週しかないので残念です。

今日、みなさんはちょっと耳を傾けてください。来年のことを少しあらかじめ話します。

□序論_「巡礼者の道」

Remnant と伝道者は巡礼者の道を歩む人々です。これを今から必ず肝に銘じなければなりません。来年 2022 年に本格的なメッセージをするでしょう。ですから、Remnant が必ずよく見なければなりません。

奴隷-解放

事実は、この奴隷になって解放されるから、この Remnant が事実は、巡礼者の道を歩むのです。

戦争-サムエル、ダビデ

みなさんがご存じのように、戦争が続けて起きた時期に生まれた人物がサムエルとダビデです。

偶像-エリヤ、エリシャ

そして、完全に偶像時代になったのですが、そのときに起きた人物がエリヤ、エリシャではないでしょうか。このように難しい旅程を歩んだのです。歩んだのですが、この人は完全にみな勝利しました。

捕虜-ダニエルチーム

さあ、また、このような時代がきました。こういうまた、捕虜時代がきたのです。

捕虜時代

が、きたのですが、ここで主役の人物が事実上ダニエルチームですね。この人たちは、時代を率いました。はたして、その方法が何かということでしょう。

属国—パウロと RT

そのあと、イスラエル民族はまた、ローマに属国になるのです。

ここで初代教会に伝道者が出てくるのです。事実上、パウロと Remnant が起きるのです。そして、巡礼者の道を行くようになりました。

流浪民族—全世界

さらに重要なことは、これです。福音を持つイスラエル民族が流浪民族になったということです。流浪民族になったから、全世界に散って巡礼者の道を行くようになりました。

どうですか。神様のみこころはどのように見えますか。人がしたことでしょうか。神様がなさったのでしょうか。この前のことは、人がしたように見えるでしょう。しかし、背後には神様が、結局は世界福音化を成し遂げるのに 237、いやし、サミットを開かれるのです。

5 世紀

このときに、特に 5 世紀の時です。

中世時代

とても中世時代の時。

虐殺時代

それから、23 か国、すべての国でユダヤ人が虐殺されたとき、このような時代がありました。ここには本当に本格的な巡礼者がその中で動き始めたのです。

キリストとその霊

この中で、この人が出てくるのです。健康を維持して守って生き残らなければならないではないでしょうか。それだけただ一つだけ祈ったのです。「キリストとその霊を私に満たしてください」

すべてのこと

それとともに、目に見えるすべてのことに、その力が行くように祈るのです。祈りの課題がありません。すべて祈りながら「キリストの霊で私を満たしてください」それとともに、残りの目に見える、思い出すことを、祝福ないし感謝、このように祈りで継続するのです。

今、その 3 団体で瞑想しながら呼吸すると言うのですが。その人々に会えばみな話すことができます。それは、みな偽りです。本来、このとき(5 世紀、中世時代、虐殺時代)に出てきたのです。記録にあります。来年には私が記録を見せます。この呼吸祈りが、この人(5 世紀、中世時代、虐殺時代)の中で出て来ました。この人が苦しいから、巡礼の道を行って、避けて、逃げ回ることが苦しいから、それを勝ち抜くのです。完全に吸う息では「キリストの霊で満たして」なぜでしょうか。そうしてこそ、健康が維持できるから。また、吐く息の時は、すべての現場において祝福して感謝して。

24

これを 24 しました。偉大なることです。Remnant が必ず知らなければなりません。

幸せ

これをこの巡礼者の道を行きながら祈りで、キリストの霊で満たされながら、すばらしい感謝、幸せなのです。どうでしょうか。

感謝

この道を行きながら、とても難しい状況を越えられるほど感謝しました。事実上、ヨセフがしなかったのでしょうか。ダビデはしなかったのでしょうか。

呼吸祈り

ところで、このような名称が、このような単語(呼吸祈り)がこのとき出てきたのです。こういうときに出てきたのです。ですから、今、その何か呼吸する、何かの家がある。あること自体が偽りです。なぜでしょうか。なぜあるのでしょうか。なぜありますか。しないからきてしなさい、この話ではないでしょうか。するとそこから出てくればしないのではないのでしょうか。それは偽りです。

これ(24、幸せ、感謝)すべきです。必ずわからなければなりません。とても幸せになるのですから、後に。

力

ものすごい力が生まれます。本当です。神様がこの人を悟るようにしたのです。その難しい巡礼者の道を通り過ぎながら、ずっと祈りをいくつもしていません。ただ主と、ただキリスト、ただ聖霊、これだけ祈ったのです。神様が知恵を与えられたのでしょうか。吸う息、吐く息を活用しますので、ずっと祈ったのです。このことがそのまま終わるわけではありません。すばらしい霊の世界へ進みます。三つが出るのです。

みことばの流れ

礼拝が何かを分かるくらいです。みことばの流れがぴったり見えます。聖書をいくら長く持っても、仕方ありません。みことばの流れが重要でしょう。

祈りの流れ

私たちは、何かことが起これば「祈りましょう」これが祈りだと思っています。それが何が祈りでしょうか。24 主を見上げなければなりません。それが苦痛でなくて、とても幸せなことです。そうなります。それなので、何が見えるでしょうか。祈りの流れがぴったりと見えるのです。簡単に話せば祈りを分かる者。契約を分かる者。

伝道の流れ

いよいよ何が見えますか。伝道の流れがぴったり見えます。終わりです。

来年にするでしょう。どれほど神様が導かれるのか祈っています。この資料も作るでしょう。

それで先週には、インマヌエルソウル教会資料チームにちょっと「本格的にチーム構成をください」こう言いました。あの出ているその3団体のことを拾っていくのは、みなでたらめだからそれをしてはいけません。でたらめですから、本当に聖書にあるとおり、本当にいやされることをすべきです。

これを継続すれば、Remnant のみなさんにとっても大きな、頭に優れた力が生じます。それで、呼吸が短い人はみなはやく死ぬでしょう。ガンになります。ですから、このことがずっとそのまま祈りをささげるから、ものすごい力が生じます。

状況

こうなるから、何が出てくるのでしょうか。状況があるでしょう。

条件

また行ってみるならば、この人の条件があるではないでしょうか。

難しいこと

この祝福を時々見るから、難しいことがあるのではないのでしょうか。なくなるのではなく、これが(状況、条件、難しいこと)関係がないのではなく、これが(状況、条件、難しいこと)まったく感じられないほどです。これが祈りを知ることです。これが礼拝を知ることです。難しいことがきたのに、感じられないのです。なぜでしょうか。みことばの流れが見えて幸せで力があるから。これを私たちの Remnant が来年から始めさせなければなりません。そうです。

ある宗教団体で何か霊性訓練すると言うので、私が資料を見ました。その人々に何か言うことは申し訳ないのですが、私は心の中で笑いながら「本当につまらない」こういうことを持って、これがものすごく何か、このようにさせてお金を儲けて、必要ありません。

これです(24、幸せ、感謝、力)。これは簡単な話ではないということです。いや、何、24 時間、何もおもしろくなく、祈りだけするというのでしょうか。違います。そのことではありません。他のことはどうしますか。その話ではないということです。ものすごい話を、巡礼者の道を歩む中に、ものすごい神様の力と感謝と幸せを味わうのです。これが(みことばの流れ、祈りの流れ、伝道の流れ)見え始めます。

1 イザヤー預言

さあ。これを一番最初に見た、バビロン時代一番最初に見た人がいます。イザヤです。あらかじめ見たのです。捕虜生活をあらかじめ見て、あらかじめ見たからどうなったでしょう。預言をしたのです。どのようになって、どのように滅びるか、預言したのです。そのとおりに、なされました。なされたのですが、そこで重要なみことばが出てくるでしょう。重要な話はみな出てきます。「さらに滅びるようになる。しかし、切り株は滅びない」そのあとに出てきた話が「処女がみごもって男の子を産む。その名をインマヌエルと名づける」それとともに出てきます、ずっと。イザヤ 40 章ぐらいに行くと、何が出てきますか。みことばの力について出てきます。そうしておいて、続けて行きます。60 章ぐらいに行くと何と言いますか。Remnant が起きます。あらまし、そうになっています。

イザ 6:13

それで重要な聖句がこれ(イザ 6:13)ではないでしょうか。

イザ 7:14

「処女がみごもって男の子を産む」

イザ 40:27-31

みことばの力が出てきます。イザヤ 40 章 27 節から 31 節まで。その有名な聖句「主を待ち望む者は新しく力を得」出てきますね。

イザ 60:1-22

それとともに、一番このように Remnant の話が出てきます。本格的に Remnant が起きることになるのです。「起きよ。光を放て。遠方からあなたの息子と娘たちが帰ってくる。最も小さい者も氏族となり、最も弱い者も強国となる。時が来れば、わたし、主が、すみやかにそれをする。」

イザ 62:6-12

「あなたは見張り人です」

私は、これを(24、幸せ、感謝、力)私は、どのようにするのかというと、すべてをみなしながら、ご飯を食べる時もあります。ほんとうです。ご飯を食べる時も普通はそのまま食べるではないですか。私はこのように長く呼吸に合わせて祈りながらこのように食べます。特に一人で食べる時です。とても良いです。

②ダニエル—心を定める

さあ、このイザヤの話をわかった人々がバビロンをひっくり返したのです。あらかじめ出た預言ですが、この預言がわかった Remnant が完全にバビロンひっくり返した、ということです。ダニエルです。完全にひっくり返したのではないのでしょうか。为什么呢。あらかじめ知って心を定めたのです。これが Remnant が握らなければならない契約で、来週、来月に集まった時のフォーラムです。

理由

心を定めたということは、理由を知ったことです。なぜきたのかと知っていました。そうでしょう。イスラエルがどうなりましたか。分かるから。これから、問題がくることがある。分かるから。心を定めたのです。

神様が、このダニエルを見つめれば、これ(24)が出てきます。24。ダニエルが生活の中で継続して祈っていた証拠が出てきます。王が言ったことばです。「あなたがいつも仕えている神は、あなたを救うことができたか。」こう言いました。そうでしょう。その他の聖書にこのように記録されています。「いつも礼拝して祈る、そのあなたの神様があなたを」そのように出ています。ここで起きたことをフォーラムすることがとても多いです。このダニエルが殺されそうになった背景、このようなことみな知っているでしょう。そのようなことをフォーラムしてみてくださいということです。

ダニ 6:10

とても重要なことです。ダニエルが殺されそうになった背景も分かります。みなさんがフォーラムすべきこと、そうではありません。流れをフォーラムしなさいと言うことです。それでは一緒にフォーラムすれば、これがすばらしい答えがきます。ダニエル 6 章 10 節を見れば、何となっているかということ。「いつものように」ダニエルが切実にひざまずいた祈りを一日三回ずつしていたということです。「いつものように」みなさんがフォーラムすることを今、書いたのです。

ダニ 6:20

ダニエル 6 章 20 節です。

ダニ 6:22

また、ダニエル 6 章 22 節のようなこと見てください。内容は出ているから、みなさんがフォーラムをしてみるということです。

6 章 22 節に何となっていますか。王が言ったことです。「あなたがいつも仕えている神は」そう言いました。そのとき、ダニエルがした返事です。

22 節に「私の神は御使いを送り、獅子の口をふさいでくださったので」こう言いました。「獅子は私に何の害も加えませんでした。」と話しました。

ダニ 10:10-20

さあ、聖書に重要なことをフォーラムしてみてくださいということです。ダニエル 10 章 10 節から 20 節。これはなんではないでしょうか。ダニエルがこの祈り(ダニ 6:10)だけしたわけではありません。この祈り(ダニ 10:10-20)もしたということです。ものすごい重要なことを置いて 20 日間、集中祈りをしたことが出てきます。神様がすべての世界をダニエルにみな知らせてくださったのです。その基本はここに(序論)ある、ということです。ご存知でしょう。必ず Remnant は見つけ出さなければなりません。

私は、率直な話で、このような話を聞けば、先生の気分が悪いこともあるでしょうが、勉強ができなくても、成功できません。とてもできない勉強を苦勞せずに、神様がくださった私のことを見つけてください。それがさらにはやいです。どのことが神様みこころでしょうか。最善は尽くすべきですが、私に合わない勉強を、それを私がするというよりは、神様が私にくださったことを見つけることが、それがはるかに神様のみこころです。すでに先進国はそのようになっているでしょう。

③三人の同僚一心を合わせた祈り

三つ目のフォーラムです。この祝福を三人の同僚を見てください。シャデラク、メシヤク、アベデ・ネゴです。ここに対してみなさんが握らなければならない契約はなんでしょうか。2~3人が疎通した心を合わせた祈りです。祈りが何か分かるならば、この祈る2~3人が合わされば、どんなことが起きるでしょうか。

私がこのような祈りを一度してみました。ある一つのことだけ置いて集中呼吸しながら、この祈り(24、幸せ、感謝、力)をしてみました。ところでその祈りだけ継続したのですが、ある日、ある時間にしなくなりました。それでは、しないということですね。別のことを祈るのです。時間がすぎて、ぴったり見れば、必ずこちらでなければ、あちらで驚くべき答えが来ています。

そして何年かの間、タラッパンにきながら多くのことを修正していく中で、私は継続が祈りの中に入りました。そして、コロナと出会いました。今です。すると、今、237、いやし、サミットの準備とか私たちの237センター準備とか、私たちの今、多くの組織、これが単なる話ではないということです。牧師先生たちに要請したいことは、私たちのRemnantに正しく祈りが何か、礼拝が何か知らせなければなりません。これが最後の機会です。

今日も私たちの賛美チームが賛美を本当に上手にしたのですが、あのような人が、これからこのような部分でモデルとして立てば、世界を変えます。本当に私は驚いたのが、私たちのあのオ牧師の賛美の導きは上手です。本人がしているときは分からないのですが、これを放送で聞いてみれば、ともに歌うとき、とても上手にします。私がRemnant聞いてみるでしょう。このように教会堂で聞く時は、何「ただ上手にしている」と感じたのですが、放送を聞いてびっくり驚いたのです。そのように、私たちの中に今、パク牧師とかあのヒョンギルや私たちのチームを続けて見れば、あの人たちが、もしちょっとこの部分(序論)に答えぴったり出せば、本当に私が時代を変えると見ています。

そうです。私がこうした話もしました。「さっきこうしたのに、ダンスのようなことを、これからコロナが解除されたらです。特にダンスをうまくする人も開発させる必要がある」昔には、私たちの教会が賛美の導きができないから、賛美リードするとき、人々がうまくできなかったということです。この頃の私たちは違います。

祈ってください。みなさんがこの「24 祈り」が通じる人が2~3人が祈ることを始めれば、どんなことが広がるでしょうか。

政治

世界で一番恐ろしいのが政治です。政治をする人は変わりません。自分が考えたぴったりそれは、それを必ずしなければならぬと考えます。

偶像

人が偶像を作ったのです。このようにすれば、統治と政治うまくいくだろうと考えたのです。

政治をする人の考えはぴったり入れば、国民がどんなに関係ありません。変わりません。父親の話も聞きません。その何か、子どもが死の状態になっても、話を聞きません。これを砕きました。本当に驚くことでしょう。

四人

みなさんがご存じのように、ここにとても重要な聖句がたくさん出ます。その中にフォーラムすべき内容です。シャデラク、メシヤク、アベデ・ネゴを火の中で入れたのに、四人が行き来します。三人入れたのに、四人が行き来しています。再び呼び出してみると三人しかなくて、1人は誰でしょうか。科学的に一度研究する必要があります。これから、科学がとても発展するならば、ものすごいことになるでしょう。

④エステル—答えの前に答え

みなさんが必ずフォーラムすべき第4週は、エステルに関することです。エステルはどんな答えを持っていたかということ。私たちが、普通、あらかじめ答え受けるという話をするでしょう。それこそ似ている話ですが、答えの前にすでに答えを受けたということです。一節をいくつか必ず記憶してください。

エステル2章10節。また、特にエステル4章1節から16節。そして、出てきた単語がプリムの日です。みな重要で、内容もみな重要ですが、私が今、流れを話したのです。何の流れなのか見てください。みなさんが握らなければならない流れですから。

エス2:10(話)

王妃になったとき「ユダヤ人だということを言ってはならない」そう言いました。それがエステルとモルデカイが通じたことでしょう。

エス4:1-16(話)

さあ、ユダヤ人がみな殺されることになりました。「今、行って話しなさい」この話ということが重要です。そのときは言うな、と言って、今、言いなさいと言うのです。それとともにこのような話をしました。「このときのために、神様があなたをそこにたてたのだ」私たちのRemnantたちが本当に握らなければならない単語でしょう。重要な、そのときのために、私たちのRemnantをたてたのです。

プリムの日(作品)

これ(プリムの日)はなんですか。その言葉が作品として残るようになります。みなさん必ず記憶して、Remnantはこちら(序論)考えを少ししてみるのが良いです。

△良い本ではないのですが、参考にする必要があります。来年に私と一緒にメッセージの疎通をしようとするなら「巡礼者の道」このような本を一度読んでみる必要があります。必要ならば、何冊かまた、紹介するでしょう。

その本は3団体である丹田呼吸法、こういうこととは比較になりません。それは子どもする位ずらくらいしかならなくて、これは、本物のこの人は、違うのです。それゆえ、みなさんに、このようにちょっと来年に、ちょっと多くのことを答えを受けなければならないからです。ですから、なにか、結論的に多くのキリスト教徒が祈りが何かよく知らずにいます。

5]ネヘミヤ現場で味わった者

最後の週に出てくるのは、ネヘミヤでしょう。ネヘミヤの特徴は、カッコに入れるのは何か、現場で味わった者です。ネヘミヤを見て、とてもなかなか良い人物だと見た人が多いのです。ネヘミヤを見て「神様を信じる人だ」と見た人が多いのです。

成功

それが本当の成功です。ネヘミヤを見て、王が最高の関心を持ったのではないのでしょうか。

城壁(神殿)再建

そのときネヘミヤが話さなかったのでしょうか。これを(城壁(神殿)再建)話します。すでに、クロス王の時に約束されたことなのに、中断されたことを話します。それゆえ、その多くの妨害を押し切っても、何、サヌバラテ、このような人が妨害をたくさんしたのですが、イスラエルは、結局は、勝利することになります。

再建

ネヘミヤを通して、確実な先に影響を他の人がたくさん与えたるのですが、ネヘミヤが役割を果たしたのでしょうか。ネヘミヤは預言者というよりは、王宮で働いていた人だということです。私たちの Remnant が知らなければならない部分がそうです。みなさんがいる現場で、みなさんがこの奥義を持っていれば、その人々が知るようになります。

△共通点が出てきました。ダニエルを見た王がダニエルにこれ(序論)あることを分かりました。それが重要です。みなさんがご存じのように、三人の青年とエステルを見た王が分かったのです。絶対のがさずに、みなさんがちょっと本当に力を回復しなければなりません。ですから、もう勉強も未来もみな進んでいくのです。

来年に起きる多くの答えが期待できます。みなさんは祝福を受けた Remnant です。時代を生かす Remnant になることを主イエスの御名で祝福します。祈ります。

祈り

神様に感謝します。Remnant のためにすべてを準備された神様に感謝します。Remnant を通して、まことの福音が回復しますように。真の礼拝が回復しますように。世の中を生かす真の祈りが回復しますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン